

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査データを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや画像データを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

腹腔鏡下膀胱全摘術施行した患者（高齢者、非高齢者）に対する予後因子に関する後ろ向き観察研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院泌尿器科

【研究責任者】 柳原 豊（愛媛大学医学部附属病院泌尿器科講師）

【研究の目的】

過去に受診された腹腔鏡下膀胱全摘術を施行した患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は膀胱癌に対する腹腔鏡手術における検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2013年10月から2018年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち膀胱癌と診断され腹腔鏡下膀胱全摘術を施行された患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、手術結果、予後 等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院泌尿器科 雑賀隆史

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院泌尿器科 柳原 豊

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5356